



R7.4.11 県内の市議会議長・副議長会において

本市として防波堤の整備・促進を求める議案を提出させていただきました。3議案の中に出選されて、4月に開催の四国市議会議長会に提出されることとなりました。



R7.4.23 第87回四国市議会議長改定期総会

選出されました津波防波堤整備促進について、四国市議会定期総会にて以下のように強く要望させていただきました。

- ①国直轄事業としての防波堤強化工事の実施、実施自治体への支援
- ②最新の津波シミュレーションを基にした防波堤計画の見直しと技術支援
- ③緊急時の応急復旧体制の強化
- ④津波による防波堤損壊時の迅速な復旧支援の仕組み構築



R7.4.28 副議長席にて感謝

令和7年4月末、おかげさまでもちまして副議長の任期を終えさせていただきました。

任期中、災害協定締結など、様々な分野において本市で住みやすい環境整備に努めて参りました。これからも皆様方の声に耳を傾け全身全霊、迅速かつ着実に働かせて参る所存でございます。

ステーションパークを核に
魅力アップの都市空間の
計画策定を

答 公園と周辺施設を活かし
魅力的な街づくりを目指す

近藤 ステーションパークを核に子育てしやすい公園・緑地施設の魅力を活かした取組が必要である。図書館とたぬき広場に明るさが増す一体的なリニューアル、遊具の更新、魅力ある大型遊具施設の設定、たぬき銅像の



都市整備部長 災害時の情報受発信の手段等WiFi環境を令和四年二月を目途に進める。遊具更新やSU車両の塗装修繕、たぬき銅像背面の滝等、早期改修に向け、取り組む。
近藤 周辺の公園・緑地を一体的に捉えた、街づ



整備促進と切に願うが取組は。



くりの計画策定は。

市長 令和四年度の事業化に向け、広場の遊具、新規遊具設置計画、たぬき広場と図書館を繋ぎ明るい空間を提供できるようにニーズに合わせた整備をする。ステーションパークと公園緑地等の効果を活かし魅力的な街づくりの実現を目指す。
漏水被害防止のための

実績 一般質問が叶い、図書館とステーションパークの仕切りを取り除き一体化した空間、日が差し込む図書館が2025年4月15日に「こかげテラス」という名で完成



「こかげテラス」の開幕に向けテープカットをさせていただきました。明るい図書館・安らぎのあるこかげテラスが皆様の安らぎとなりますよう祝辞を述べさせていただきました。



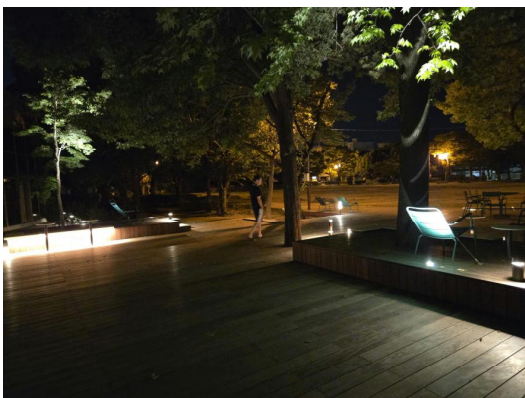
R7.5.6 図書館とたぬき広場をつなぐ「こかげテラス」の落成式開催

たぬき広場と図書館の接続部分をオープンな空間にリニューアルしてほしいとの一般質問が叶い、盛大に落成式が行われました。



R7.5.6 祝辞を申し述べる

「こかげテラス」のリニューアルにより、屋外でくつろげる休憩スペース・図書館と公園をつなぐ場所として一体的に楽しめる施設の落成を記念して。祝辞を述べさせていただきました。



R7.5.6 ライトアップされた「こかげテラス」

ライトアップされることにより、癒やしの空間がさらに安全かつ臨場感あふれる雰囲気となっています。



R7.5.16 小松島市連合婦人会総会
県の婦人会会長の藤田育美会長をお迎えして講話をいただきました。女性目線を生かし、しなやかさと強さを持ち合わせ、お互いに助け合うことの大切さを語られました。



R7.5.19 農園ファームの視察

女性活躍推進協議会で農園を視察し、多くの学びがありました。これからの時代、女性が従事しやすい農業環境こそが重要な視点となってくると感じます。安全で働きやすい環境整備は急務であります。



R7.5.19 栽培手法の工夫

少量多品目栽培で、年間200種類の栽培を可能とするファームの経営は広大な農地でなくても叶う工夫がたくさんありました。



R7.6.5 みなと祭り実行委員会開催

みなと祭り実行委員会に参加し、万全を期すための打ち合わせが行われました。



R7.6.5 みなと祭り安全な開催に向けて

みなと祭りが安全に運営されるよう、各機関が集まり、確認し、意見を共有しました。

近藤 物価高騰は深刻である。今後の対策は、効果的なきめ細かな対策を行っていく。

副市長 シン・ユウジ

耐震強化を

近藤 木造住宅耐震診断・改修の状況は、令和7年5月末で補助事業にキャンセル待ちが発生する。希望者が実施できる予算の確保を、都市整備部長、財源措置を図り、補助金を交付できるように対応。

近藤 埼玉県で道路の

近藤 施設事故発生。主因の地下水道の耐震化は、

都市整備部長 口袋とメートル以上の管路点検を実施し異常はない。

近藤 送水管整備を含め水道管の耐震化を、

水道部長 令和14年度を目途に浄水ポンプ場送水管、配水池供用場

近藤 市役所のLED照明設置を計画的、早急に進めてほしいが、

総務部長 早い段階で予算化し、事業化できるように取組を進める。

近藤 市立体育館・学校の体育館・公民館へのLED照明設置を、

副教育長 市長官舎と

答 継続的な支援に努めていく

近藤 純子 議員

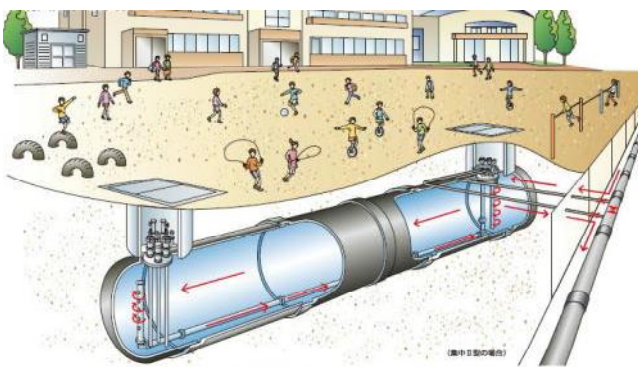
物価高騰対策に、継続的・効果的な支援を

2か所整備。災害時の飲料水の確保を、

水道部長 新たな小松島小学校に1基設置する考え。令和8年度事業化に向け進めている。

公共施設にLED照明設置を

地下にある耐震性貯水槽



R7.6 災害時、まず子どもたちの命を守るため6月定例会議一般質問で要望

耐震性貯水槽(飲料水用)の増設を新小学校地下に埋設することを令和7年6月定例会議一般質問で質問し、要望。1基の増設が叶いました。

実績 令和8年度当初予算に耐震性貯水槽設置の予算が計上されました。



R7.7.2 AI を生かした自治体・公共 Week2025 に参加

AI を用いて津波が来た際の模擬体験を通し、備えるべきことを把握したり、減災を実装する減災トレーニングは実に効果的であり、今後に生かすことが出来ると感じました。



R7.7.2 AI を生かした自治体・公共 Week2025 に参加

脱炭素社会に向けて、エネルギー分野での AI による最適制御について学びました。

AI の利点として、電力の「見える化」と「最適化」に大きな力を発揮することを理解しました。



R7.7.12 13 農業 国際会議

生物の多様性を育む農業国際会議が小松島市サウンドハウスホールで開催されました。水田の生物多様性と持続可能な農業をテーマに議論した大規模イベントで、国内外の専門家が集まり、講演・分科会・現地視察を行う内容の濃い会議となりました。



R7.7.12. 13 農業国際会議

高校生が地域農産物の出展や展示、手作りの地域物産販売を行い、若者のアイデアによる活気がイベントに花を添えました。



R7.7.12 1 農業国際会議

ICEBAR の実行委員の方と今後の農業の様々な在り方についてご対談させていただきました。持続可能な農業技術を確立し、その価値を広く発信することの重要性を確認させていただきました。



R7.7.19 青少年健全育成の総会並びに合同研修会に参加

小松島市青少年健全育成協議会副会長として参加しました。地域・家庭・学校を結ぶ補導センター活動の重要性を実感し、地域ぐるみで取り組む健全育成のさらなる充実を目指して実践に移したいと思います。



R7.7.21 小松島港まつり開催

国や県から安全な港まつり花火大会が開催されているか、専門的視点で視察においでいただきました。このような多くの方々のお知恵やお力添えにより安全に開催でき、多くの来訪者が訪れました。



R7.7.21 小松島港まつり開催

国・県防災企画官などの方が小松島港まつり花火大会のためにお越しくださいました。これから上がる花火に、あらゆる視点からの安全対策について真剣な面持ちでお越しくださいました。



R7.8.4 水たまり対策の舗装工事の要望 実現

田左衛門近くに水がたまりやすく、参拝に来た方々が困るとの声を受け、舗装工事を要望し、実現しました。



R7.9.1 (防災の日) 地域の備え災害ワーク ショップ開催

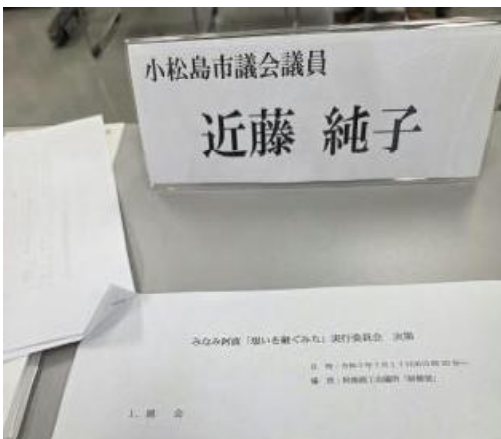
市危機管理課、県キッチンカー協会理事長様はじめ協会の方々、防災士会の皆様方等が集まり、内容の濃いワークショップとなりました。私からは災害が起こった場合、まず最優先は命を守ること、そしてその命をつなぐために食や飲料水の重要性について話をさせていただきました。



R7.9.1 (防災の日) 地域の備え災害講話
 能登半島地震のボランティアに行かれた様子から学ぶことも多く、本市・本県が備えることができることがまだまだ多くあると感じました。



R7.9.1 (防災の日) HUG 実施
 地域の備え災害ワークショップの一環としてHUG（H＝避難所、U＝運営、G＝ゲーム）という図上訓練を実施しました。災害時さながらの真剣な取り組みはいざという時役立つことでしょう。



R7.9 みなみ阿波「想いを継ぐみち」実行委員会が阿南市で開催

令和7年9月27日に開催される、みなみ阿波「想いを継ぐみち」シンポジウム2025に向け、高速道路新居見地区対策協議会顧問としてオブザーバー参加をしました。約1.4kmの新居見トンネル工事では、24時間体制で発破作業が続く中、地元の方々のご協力をいただいております。命の道をつなぐために懸命な取組が進められるよう尽力して参ります。



R7.10.26 小松島市総合防災訓練開催

小松島市総合防災訓練が千代小学校で行われました。小松島市防災士会としてこれまで培ってきた命を守るロープワークや段ボール携帯トイレを児童をはじめとする多くの参加者に体験していただきました。



7.10.26 総合防災訓練でのロープワーク

命を救ってもらう場合、安全でほどけない結び方や、滑車の原理を生かした救助方法を体験してもらいました。子どもたちの真剣なまなざしから命を守る救助に関する意識の高まりを実感しました。



R7.10.26 総合防災訓練での弁護士への質問

災害前の備えや発災時、発災後の法的な質問について弁護士の先生に質問し、一つ一つ丁寧に回答して頂きました。



R7.10 小松島市美術祭第100回記念

小松島市美術祭第100回記念が開催されました。感動をいただくと共に、生涯にわたり表現していくことの大切さを学ばせていただきました。



R7.10.22 県安全で安心なまちづくり推進大会において

日頃の防犯活動や中田駅前の美化活動及び自転車の整理・撤去活動が高く評価され、中国四国管区警察局長より児安校区防犯推進会が表彰されました。



R7.11 国道横歩道の防護柵設置を要望し、実現

特に事故の起きやすいカーブになっている部分にも、防護柵の設置を要望し、設置していただき、より安心・安全な歩道になりました。



R7.11.24 高市早苗大臣と女性としての活躍を誓い合う

高市早苗大臣（当時）と女性の立場として短時間ながら真剣な対談させていただき、非常に密な貴重な時間となりました。



R7.11.24 現在の課題に積極的に立ち向かうことへの誓い

高市早苗大臣と女性目線での物価高対策など様々な課題に共に、果敢に挑んでいきましようとして熱く力強い語らいを通じて、大きなエネルギーをいただきました。



R7.11.24 現在の課題に積極的に立ち向かうことへの誓い

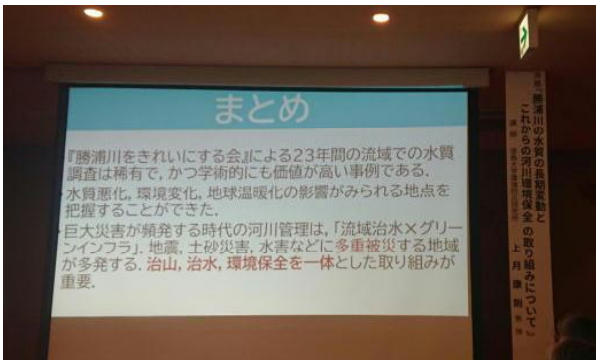
高市早苗大臣と共に手を堅く握りしめ、女性どうし懸命に力を発揮することを誓い合いました。

現在の課題に積極的に立ち向かうことへの誓いを堅く誓い合いました。



R7.11.30 勝浦川の水をきれいにする会総会開催

西会長のもと、勝浦川の水をきれいにする会総会が開かれました。昨年度の行事の振り返りや今年度の予定確認や課題が話し合われ、今後の活動により強い意欲をもちました。



R7.11.30 勝浦川の水をきれいにする会講演会開催

徳島大学の上月教授をお迎えして、水質保全活動・防災活動の講演会が総会に先立ち行われました。23年間の勝浦川水質調査が高く評価され、被災地域の環境保全について学びました。



R7.11.30 勝浦川の水をきれいにする会開催

中西祐介参議院議員をお迎えし、これまでの会の活動についての取組に高い評価をいただきました。

そして、今後も勝浦川の上流から下流までの環境保全を保ち続けたいとの気持ちを共感していただきました。



R7.12.19 中田駅美化活動

中田駅前を気持ちよく利用していただくために、防犯推進協議会の方々と共に定期的に清掃活動を実施しています。



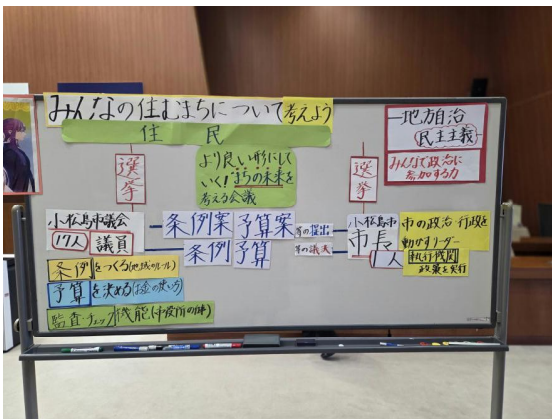
R7.12.19 JA 祭（防災に関する取組・学生とつくる復興常備食）のラジオ番組に出演

ゲストの安田大サーカス団長とは、防災士同士として意見交換を行いました。団長は、数日前に発生した大分の山林火災で、119番通報を促し、自らは初期消火にあたり、周囲へ避難を呼びかけたことで延焼を防ぎました。その行動に、防災士としての責任感と実践力を強く感じ、私自身も大いに刺激を受けました。



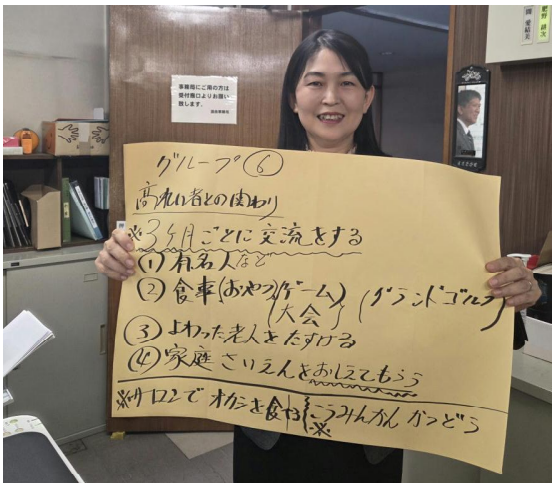
**R7.11.17 11.19 小松島市議会において
主権者教育実施**

2日に分けて主権者教育開催のため、小松島高校生と小松島西高校生に議場に足を運んでもらいました。私は議会の紹介を「フリーレン達と学ぶ地方議会」の資料をもとに授業形式で地方議会について分かりやすく実践を行いました。



**R7.11.17 11.19 小松島市議会において主
権者教育実施**

生徒たちの身近な話題から始め、まちの課題や理想を実現するため、議会の役割を知ってもらいました。高校生の真剣な姿や、フリーレンの例が分かりやすかったという声に触れ、25年間の教員生活を思い出すとともに、若者の未来のためのまちづくりの大切さを改めて実感しました。



**R8.1.22 小松島市議会において主権者教育
3回目を実施**

高校生のグループワークの中で出された市への要望をしっかりと受けとめさせていただきました。現在の市の取組も知らずにいただいた声は市政に反映できるよう努力して参ります。



R8.1.11 自衛隊協力団体新年互礼会開催

自衛隊と地域の協力団体・自治体関係者が一堂に会し、交流を深めながら新年の連携強化を確認することを目的として開催されました。地域の安全・安心に向けた連携の重要性を確認しました。



R8.1.11 自衛隊協力団体新年互礼会開催

中西祐介参議院議員と、かけがえのない人命や財産を守る安全保障・地域防災について貴重なお話とともに共感をし、気持ちを新たにすることが出来ました。



R8.1.11 自衛隊協力団体新年互礼会開催

7年6月30日に就任した海上自衛隊第24航空隊司令から、国民の皆様の負託に応えられる精強な航空隊であり続けるため、任務・訓練にまい進するとの力強いお言葉をいただきました。



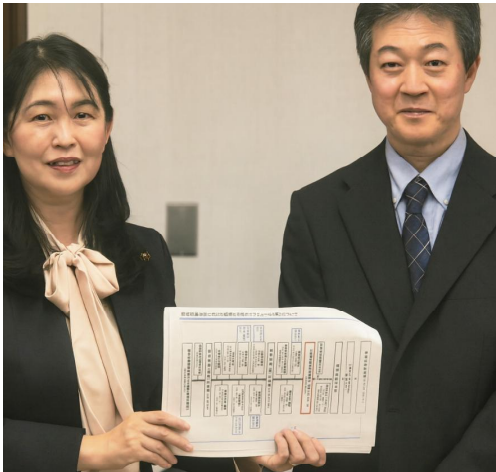
R8.1.11 上勝町消防副団長と消防出初め式に参加

私の教員生活時の教え子が上勝町消防団副団長として大きな活躍を見せています。1月11日に小松島市で開催された消防出初め式に来賓として参加。とても頼もしく感じさせてもらい、ますますの今後の活躍を期待したところでした。



R8.1.11 消防出初め式に上勝町役場総務課主幹の方も参加

上勝町役場総務課主幹をお迎えし、小松島市とのつながりを実感するとともに、命と財産を守る決意を一層強めました。



R8.1.21 小松島市都市計画審議会開催

徳島県農林水産部局長をはじめ関係者に対し、農地の担い手不足や耕作放棄地の増加といった課題を共有するとともに、まちの活性化には都市化の推進も欠かせないことを説明し、農業政策と都市計画を調和・連携させる必要性をご理解いただきました。



R8.2.3 保護司及び更生保護女性会員において特別研修開催

「再犯の防止等の推進に関する法律」と地方再犯防止推進計画の策定の意義、県内における同計画の進捗状況について、統括保護観察官からご説明を受け、その後第二次徳島県再犯防止推進計画概要について理解を深めさせていただきました。



R8.2.21 徳島南部自動車道 小松島南 IC~阿南 IC ウォーキングイベント

私も実際に 3.2 km の往復を歩き、参加者の皆様と肌で感動を感じました。また、各箇所にて設けられた仮設女子トイレの修繕も行わせていただきました。



R8.2.21 徳島南部自動車道 小松島南 IC~阿南 IC ウォーキングイベント

小松島市連合婦人会は歩く皆様のために椎茸汁をふるまいました。私は一員として、地元産品の椎茸やジャムのアピールを行いました。



R8.2.21 徳島南部自動車道 小松島南 IC~阿南 IC ウォーキングイベント

トンネル内に光の演出や解説図が大きく投影され、歩いている皆様が足を止めて幻想的な投影に見入っていました。



R8.2.28 第60回小松島市社会福祉大会に参加

長年にわたり地域のために支えてくださった方々に対し、各種表彰状が贈られました。私も皆さんの心と同様に、これまで以上に地域の取組を積極的に活動していく気持ちを新たにしました。



R8.3.1 小松島市連合婦人会芸能大会

連合婦人会は、普段女性の力で地域をよりよくするため暮らしの向上と地域作りを目的に活動をしています。私もその一員として本日はもちまへの技能を生かした芸能大会が華々しく開催されました。



R8.3.8 徳島南部自動車道（小松島南IC~阿南IC） 開通式

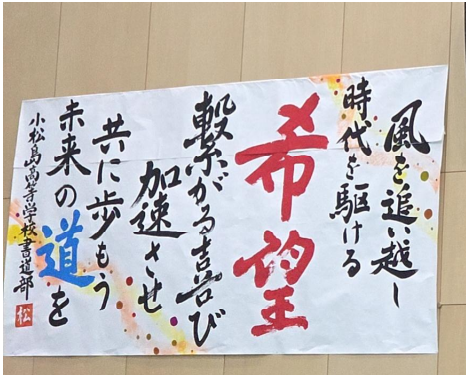
待望の徳島南部自動車道（3.2km）の開通式が金子国土交通大臣をお迎えして開催されました。救急搬送の迅速化、物流の効率化、観光振興など、南部地域の発展に大きな弾みがつくことでしょう。



R8.3.8 徳島南部自動車道（小松島南IC~阿南IC） 開通式

仁木厚生労働副大臣をはじめ、自動車道開通に向け率先していた方など、多くの方々が

本日の開通を新たな出発点として、南部地域のさらなる発展が期待されることでしょう。



R8.3.8 徳島南部自動車道（小松島南 IC~阿南 IC） 開通式

小松島高校書道部が描いた「未来の道へ希望を持った」という書道展示に、深く心を打たれました。多くの皆さまが一日も早い開通を願い、さまざまなお力添えとご尽力を重ねてこられた結果、未来に希望あふれる道が実現しようとしています。この道が、地域の新たな発展へとつながっていくことを期待しております。



R8.3.8 徳島南部自動車道（小松島南 IC~阿南 IC） 祝賀会

ご臨席の金子恭之国土交通大臣をはじめ、後藤田正純徳島県知事、小松島・阿南両市長、国会議員、国交省の皆様などのご臨席のもと、徳島南部自動車道の祝賀会が開催されました。今後「命の道」として大きな役割を担うことを期待し、工事にご尽力いただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



R8.3.29 勝浦川の水をきれいにする会として勝浦の 桜祭りのボランティアに参加

アメゴ釣りの自然体験では、子どもたちをはじめ、来訪された皆さんに楽しんでいただけるよう、釣り糸の絡まりを直したり、釣れた瞬間の喜びを一緒に分かち合いました。自然体験の少ない現代においてこういう機会をもつことは、大人も子どもたちも忘れられない貴重な体験となったと感じました。



R8.3.29 勝浦川の水をきれいにする会として 勝浦桜まつりのボランティアに参加

仁木厚生労働副大臣様もおいでになり、国際色豊かな交流が生まれる中で、日本文化にも親しんでいただけ幸せを感じました。

また、桜祭りを牽引された方から、この大規模な勝浦桜まつりを今後引き続き続けるにあたって整備強化の要望もいただきました。